

平成19年 人口動態統計（確定数）の概況

目 次

	頁
調査の概要	1
結果の概要	2
(統計表)	
第1表 人口動態総覧	3
第2表-1 人口動態総覧の年次推移	4
第2表-2 人口動態総覧（率）の年次推移	6
第3表-1 人口動態総覧，都道府県（18大都市再掲）別	8
第3表-2 人口動態総覧（率），都道府県（18大都市再掲）別	10
第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数	12
第5表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率	13
第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合	14
第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）	15
(別表) 日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態	18
付表 諸率の算出に用いた人口	19
参考 合計特殊出生率について	20
厚生労働省ホームページ掲載表一覧	24

厚生労働省大臣官房統計情報部
人口動態・保健統計課

本資料を含む主要統計表（24ページ参照）は厚生労働省ホームページに掲載しています。
掲載場所：「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成19年人口動態統計（確定数）の概況」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei07/index.html>

調 査 の 概 要

- 1 調査の目的 我が国の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策の基礎資料を得ることを目的とする。
- 2 調査の対象及び客体
「戸籍法」及び「死産の届出に関する規程」により届け出られた出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の全数を対象としているが、本概況は、平成19年に日本において発生した日本人の事象を客体としている。
- 3 調査の期間 平成19年1月1日～平成19年12月31日
- 4 調査の方法 市区町村長は、出生、死亡、婚姻、離婚及び死産の届書に基づいて人口動態調査票を作成する。
- 5 報告の系統 市区町村 —— 保健所 —— 都道府県 —— 厚生労働省

保健所を
設置する市・特別区
- 6 結果の集計 集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

《利用上の注意》

- 1 印刷公表している人口動態統計の資料は次のとおりである。

人口動態統計速報	人口動態統計月報	人口動態統計年報
数値：調査票を作成した数 集計客体：日本における日本人及び外国人、並びに外国における日本人 いずれも前年以前発生のもを含む 公表：毎月 (調査月の約2か月後)	数値：概数 集計客体：日本における日本人 (前年以前発生ものを除く) 公表：毎月 (調査月の約5か月後) : 毎年(年間合計) (調査年の翌年6月)	数値：確定数 (概数に修正を加えたもの) 集計客体：日本における日本人 (日本における外国人、外国における日本人及び前年以前発生ものは別掲) 公表：毎年 (調査年の翌年9月ころ)

※本概況は太枠の部分である。

報告書 (刊行は平成21年2～3月ころ)

- 上巻 (人口動態調査の概要及び結果の解析を収録)
- 中巻 (出生・死亡・死産・婚姻及び離婚に関する統計表を収録)
- 下巻 (死因に関する統計表を収録)

2 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のありえない場合	・
計数不明又は計数を表章することが不適当な場合	…
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0
減少数(率)の場合	△

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合がある。

3 用語の解説

- 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの
- 乳児死亡：生後1年未満の死亡
- 新生児死亡：生後4週未満の死亡
- 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡
- 死産：妊娠満12週以後の死児の出生
- 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの
- 合計特殊出生率については、20ページ参照

結果の概要

1 出生数は減少

出生数は108万9818人で、前年の109万2674人より2856人減少し、6年ぶりに増加に転じた前年から再び減少した。出生率（人口千対）は8.6で前年の8.7を下回った。合計特殊出生率は1.34で、6年ぶりに上昇した前年の1.32を上回り、2年連続で上昇した。（第1表、第2表-1、第2表-2）

出生数を母の年齢（5歳階級）別にみると、減少傾向から前年増加に転じた20～24歳は再び減少し、25～29歳は前年に引き続き減少した。前年増加した30～34歳も再び減少し、35歳以上の各階級では増加した。

合計特殊出生率を母の年齢（5歳階級）別にみると前年上昇に転じた20歳代が再び低下したが、30歳以上の各階級では上昇し、前年に引き続き30～34歳が25～29歳を、35～39歳が20～24歳をそれぞれ上回った。

出生順位別にみると出生数は第1子、第2子は減少したが、第3子以上は増加した。合計特殊出生率はいずれの出生順位についても前年を上回った。母の年齢（5歳階級）別と併せてみると、出生数は35～49歳の各階級でいずれの出生順位についても前年を上回った。（第4表、第5表）

2 死亡数は増加

死亡数は110万8334人で、前年の108万4450人より2万3884人増加し、死亡率（人口千対）は8.8で前年の8.6を上回った（第1表）。

悪性新生物の死亡数は33万6468人で、死亡率（人口10万対）は266.9であり、死亡総数の30.4%を占めて死因順位の第1位となっている。第2位は心疾患、第3位は脳血管疾患である。（第6表）

年齢調整死亡率（人口千対）は男5.6、女2.8で男女とも前年を0.1下回った（第1表）。

3 自然増加数は減少

自然増加数（出生数から死亡数を減じたもの）は△1万8516人で、プラスに転じた前年の8224人より2万6740人減少し、自然増加率（人口千対）は△0.1で、前年の0.1を下回り、数・率ともに再びマイナスとなった（第1表、第2表-1、第2表-2）。

4 死産数は減少

死産数は2万9313胎で、前年の3万911胎より1598胎減少し、死産率（出産（出生＋死産）千対）は26.2で、前年の27.5を下回った（第1表）。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は71万9822組で、前年の73万971組より1万1149組減少し、5年ぶりに増加に転じた前年から再び減少した（第1表、第2表-1）。

婚姻率（人口千対）は5.7で、前年の5.8を下回った（第1表）。

6 離婚件数は減少

離婚件数は25万4832組で、前年の25万7475組より2643組減少したが、その減少幅は前年の4442組と比べ小さくなっている（第1表、第2表-1）。

離婚率（人口千対）は2.02で、前年の2.04を下回った（第1表）。

(統計表)

第1表 人口動態総覧

	実数			率 ¹⁾		平均発生間隔	
	平成19年	平成18年	対前年増減	平成19年	平成18年	平成19年	平成18年
出生	1 089 818	1 092 674	△ 2 856	8.6	8.7	分 秒	分 秒
男	559 847	560 439	△ 592	9.1	9.1	56"	56"
女	529 971	532 235	△ 2 264	8.2	8.2	1' 0"	59"
死亡	1 108 334	1 084 450	23 884	8.8	8.6	28"	29"
男	592 784	581 370	11 414	9.6	9.4	53"	54"
女	515 550	503 080	12 470	8.0	7.8	1' 1"	1' 3"
(再掲)							
乳児死亡	2 828	2 864	△ 36	2.6	2.6	185' 51"	183' 31"
新生児死亡	1 434	1 444	△ 10	1.3	1.3	366' 32"	363' 59"
自然増加	△ 18 516	8 224	△ 26 740	△ 0.1	0.1	…	…
死産	29 313	30 911	△ 1 598	26.2	27.5	17' 56"	17' 0"
自然死産	13 107	13 424	△ 317	11.7	11.9	40' 6"	39' 9"
人工死産	16 206	17 487	△ 1 281	14.5	15.6	32' 26"	30' 3"
周産期死亡	4 906	5 100	△ 194	4.5	4.7	107' 8"	103' 4"
妊娠満22週以後の死産	3 854	4 047	△ 193	3.5	3.7	136' 23"	129' 52"
早期新生児死亡	1 052	1 053	△ 1	1.0	1.0	499' 37"	499' 9"
婚姻	719 822	730 971	△ 11 149	5.7	5.8	44"	43"
離婚	254 832	257 475	△ 2 643	2.02	2.04	2' 4"	2' 2"

	平成19年	平成18年
合計特殊出生率 ²⁾	1.34	1.32
年齢調整死亡率 ³⁾ 男	5.6	5.7
女	2.8	2.9

- 注：1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率（期間合計特殊出生率）とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
（実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照）
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口、19ページ参照）にあてはめて算出した指標である。

第2表-1 人口動態総覧の年次推移

年次 ¹⁾	出生数	死亡数	(再掲)		自然増加数	
			乳児死亡数	新生児死亡数		
1947	昭和22年	2 678 792	1 138 238	205 360	84 204	1 540 554
48	23	2 681 624	950 610	165 406	73 855	1 731 014
49	24	2 696 638	945 444	168 467	72 432	1 751 194
1950	25	2 337 507	904 876	140 515	64 142	1 432 631
51	26	2 137 689	838 998	122 869	58 686	1 298 691
52	27	2 005 162	765 068	99 114	51 015	1 240 094
53	28	1 868 040	772 547	91 424	47 580	1 095 493
54	29	1 769 580	721 491	78 944	42 726	1 048 089
55	30	1 730 692	693 523	68 801	38 646	1 037 169
56	31	1 665 278	724 460	67 691	38 232	940 818
57	32	1 566 713	752 445	62 678	33 847	814 268
58	33	1 653 469	684 189	57 052	32 237	969 280
59	34	1 626 088	689 959	54 768	30 235	936 129
1960	35	1 606 041	706 599	49 293	27 362	899 442
61	36	1 589 372	695 644	45 465	26 255	893 728
62	37	1 618 616	710 265	42 797	24 777	908 351
63	38	1 659 521	670 770	38 442	22 965	988 751
64	39	1 716 761	673 067	34 967	21 344	1 043 694
65	40	1 823 697	700 438	33 742	21 260	1 123 259
66	41	1 360 974	670 342	26 217	16 296	690 632
67	42	1 935 647	675 006	28 928	19 248	1 260 641
68	43	1 871 839	686 555	28 600	18 326	1 185 284
69	44	1 889 815	693 787	26 874	17 116	1 196 028
1970	45	1 934 239	712 962	25 412	16 742	1 221 277
71	46	2 000 973	684 521	24 805	16 450	1 316 452
72	47	2 038 682	683 751	23 773	15 817	1 354 931
73	48	2 091 983	709 416	23 683	15 473	1 382 567
74	49	2 029 989	710 510	21 888	14 472	1 319 479
75	50	1 901 440	702 275	19 103	12 912	1 199 165
76	51	1 832 617	703 270	17 105	11 638	1 129 347
77	52	1 755 100	690 074	15 666	10 773	1 065 026
78	53	1 708 643	695 821	14 327	9 628	1 012 822
79	54	1 642 580	689 664	12 923	8 590	952 916
1980	55	1 576 889	722 801	11 841	7 796	854 088
81	56	1 529 455	720 262	10 891	7 188	809 193
82	57	1 515 392	711 883	9 969	6 425	803 509
83	58	1 508 687	740 038	9 406	5 894	768 649
84	59	1 489 780	740 247	8 920	5 527	749 533
85	60	1 431 577	752 283	7 899	4 910	679 294
86	61	1 382 946	750 620	7 251	4 296	632 326
87	62	1 346 658	751 172	6 711	3 933	595 486
88	63	1 314 006	793 014	6 265	3 592	520 992
89	平成元年	1 246 802	788 594	5 724	3 214	458 208
1990	2	1 221 585	820 305	5 616	3 179	401 280
91	3	1 223 245	829 797	5 418	2 978	393 448
92	4	1 208 989	856 643	5 477	2 905	352 346
93	5	1 188 282	878 532	5 169	2 765	309 750
94	6	1 238 328	875 933	5 261	2 889	362 395
95	7	1 187 064	922 139	5 054	2 615	264 925
96	8	1 206 555	896 211	4 546	2 438	310 344
97	9	1 191 665	913 402	4 403	2 307	278 263
98	10	1 203 147	936 484	4 380	2 353	266 663
99	11	1 177 669	982 031	4 010	2 137	195 638
2000	12	1 190 547	961 653	3 830	2 106	228 894
01	13	1 170 662	970 331	3 599	1 909	200 331
02	14	1 153 855	982 379	3 497	1 937	171 476
03	15	1 123 610	1 014 951	3 364	1 879	108 659
04	16	1 110 721	1 028 602	3 122	1 622	82 119
05	17	1 062 530	1 083 796	2 958	1 510	△ 21 266
06	18	1 092 674	1 084 450	2 864	1 444	8 224
07	19	1 089 818	1 108 334	2 828	1 434	△ 18 516

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。
 2) 周産期死亡数は妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
 3) (参考)の周産期死亡数は妊娠満28週以後の死産に早期新生児死亡を加えたものである。
 平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。
 4) 死産数の昭和23年、24年には自然死産・人工死産の不詳を含む。なお、*印は概数である。

死産数			周産期 死亡数 ²⁾	婚姻件数	離婚件数
総数	自然死産	人工死産			
123 837	934 170	79 551
¹⁾ 143 963	*104 325	*31 055	...	953 999	79 032
¹⁾ 192 677	*114 161	*75 585	...	842 170	82 575
216 974	106 594	110 380	...	715 081	83 689
217 231	101 237	115 994	...	671 905	82 331
203 824	94 508	109 316	...	676 995	79 021
193 274	89 751	103 523	...	682 077	75 255
187 119	87 201	99 918	...	697 809	76 759
183 265	85 159	98 106	...	714 861	75 267
179 007	86 558	92 449	...	715 934	72 040
176 353	86 895	89 458	...	773 362	71 651
185 148	92 282	92 866	...	826 902	74 004
181 893	92 688	89 205	...	847 135	72 455
179 281	93 424	85 857	...	866 115	69 410
179 895	96 032	83 863	...	890 158	69 323
177 363	97 256	80 107	...	928 341	71 394
175 424	97 711	77 713	...	937 516	69 996
168 046	97 357	70 689	...	963 130	72 306
161 617	94 476	67 141	...	954 852	77 195
148 248	83 253	64 995	...	940 120	79 432
149 389	90 938	58 451	...	953 096	83 478
143 259	87 381	55 878	...	956 312	87 327
139 211	85 788	53 423	...	984 142	91 280
135 095	84 073	51 022	...	1 029 405	95 937
130 920	83 827	47 093	...	1 091 229	103 595
125 154	81 741	43 413	...	1 099 984	108 382
116 171	78 613	37 558	...	1 071 923	111 877
109 738	74 618	35 120	...	1 000 455	113 622
101 862	67 643	34 219	...	941 628	119 135
101 930	64 046	37 884	...	871 543	124 512
95 247	60 330	34 917	...	821 029	129 485
87 463	55 818	31 645	...	793 257	132 146
82 311	51 083	31 228	36 190	788 505	135 250
77 446	47 651	29 795	32 422	774 702	141 689
79 222	46 296	32 926	30 274	776 531	154 221
78 107	44 135	33 972	28 204	781 252	163 980
71 941	40 108	31 833	25 925	762 552	179 150
72 361	37 976	34 385	25 149	739 991	178 746
69 009	33 114	35 895	22 379	735 850	166 640
65 678	31 050	34 628	20 389	710 962	166 054
63 834	29 956	33 878	18 699	696 173	158 227
59 636	26 804	32 832	16 839	707 716	153 600
55 204	24 558	30 646	15 183	708 316	157 811
53 892	23 383	30 509	13 704	722 138	157 608
50 510	22 317	28 193	10 426	742 264	168 969
48 896	21 689	27 207	9 888	754 441	179 191
45 090	20 205	24 885	9 226	792 658	188 297
42 962	19 754	23 208	9 286	782 738	195 106
39 403	18 262	21 141	8 412	791 888	199 016
39 536	18 329	21 207	8 080	795 080	206 955
39 546	17 453	22 093	7 624	775 651	222 635
38 988	16 936	22 052	7 447	784 595	243 183
38 452	16 711	21 741	7 102	762 028	250 529
38 393	16 200	22 193	6 881	798 138	264 246
37 467	15 704	21 763	6 476	799 999	285 911
36 978	15 161	21 817	6 333	757 331	289 836
35 330	14 644	20 686	5 929	740 191	283 854
34 365	14 288	20 077	5 541	720 417	270 804
31 818	13 502	18 316	5 149	714 265	261 917
30 911	13 424	17 487	5 100	730 971	257 475
29 313	13 107	16 206	4 906	719 822	254 832

(参考)

周産期 死亡数 ³⁾	年次 ¹⁾	
	昭和22年	1947
...	23	48
...	24	49
108 843	25	1950
99 865	26	51
91 527	27	52
85 932	28	53
79 776	29	54
75 918	30	55
75 706	31	56
70 502	32	57
72 625	33	58
69 912	34	59
66 552	35	1960
65 063	36	61
62 650	37	62
60 049	38	63
56 827	39	64
54 904	40	65
42 583	41	66
50 846	42	67
45 921	43	68
43 419	44	69
41 917	45	1970
40 900	46	71
38 754	47	72
37 598	48	73
34 383	49	74
30 513	50	75
27 133	51	76
24 708	52	77
22 217	53	78
20 481	54	79
18 385	55	1980
16 531	56	81
15 303	57	82
14 035	58	83
12 998	59	84
11 470	60	85
10 148	61	86
9 317	62	87
8 508	63	88
7 450	平成元年	89
7 001	2	1990
6 544	3	91
6 321	4	92
5 989	5	93
6 134	6	94
5 526	7	95
5 321	8	96
4 974	9	97
4 927	10	98
4 665	11	99
4 562	12	2000
4 238	13	01
4 224	14	02
3 995	15	03
3 671	16	04
3 492	17	05
3 420	18	06
3 306	19	07

第2表-2 人口動態総覧(率)の年次推移

年次 ¹⁾		出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)	乳児死亡率 (出生千対)	新生児死亡率	自然増加率 (人口千対)	死産率 ²⁾	自然死産率 (出産千対)	人工死産率
1947	昭和22年	34.3	14.6	76.7	31.4	19.7	44.2
48	23	33.5	11.9	61.7	27.5	21.6	50.9	*36.9	*10.9
49	24	33.0	11.6	62.5	26.9	21.4	66.7	*39.1	*25.9
1950	25	28.1	10.9	60.1	27.4	17.2	84.9	41.7	43.2
51	26	25.3	9.9	57.5	27.5	15.4	92.2	43.0	49.3
52	27	23.4	8.9	49.4	25.4	14.4	92.3	42.8	49.5
53	28	21.5	8.9	48.9	25.5	12.6	93.8	43.5	50.2
54	29	20.0	8.2	44.6	24.1	11.9	95.6	44.6	51.1
55	30	19.4	7.8	39.8	22.3	11.6	95.8	44.5	51.3
56	31	18.4	8.0	40.6	23.0	10.4	97.1	46.9	50.1
57	32	17.2	8.3	40.0	21.6	8.9	101.2	49.9	51.3
58	33	18.0	7.4	34.5	19.5	10.5	100.7	50.2	50.5
59	34	17.5	7.4	33.7	18.6	10.1	100.6	51.3	49.3
1960	35	17.2	7.6	30.7	17.0	9.6	100.4	52.3	48.1
61	36	16.9	7.4	28.6	16.5	9.5	101.7	54.3	47.4
62	37	17.0	7.5	26.4	15.3	9.5	98.8	54.2	44.6
63	38	17.3	7.0	23.2	13.8	10.3	95.6	53.3	42.4
64	39	17.7	6.9	20.4	12.4	10.7	89.2	51.7	37.5
65	40	18.6	7.1	18.5	11.7	11.4	81.4	47.6	33.8
66	41	13.7	6.8	19.3	12.0	7.0	98.2	55.2	43.1
67	42	19.4	6.8	14.9	9.9	12.7	71.6	43.6	28.0
68	43	18.6	6.8	15.3	9.8	11.8	71.1	43.4	27.7
69	44	18.5	6.8	14.2	9.1	11.7	68.6	42.3	26.3
1970	45	18.8	6.9	13.1	8.7	11.8	65.3	40.6	24.7
71	46	19.2	6.6	12.4	8.2	12.6	61.4	39.3	22.1
72	47	19.3	6.5	11.7	7.8	12.8	57.8	37.8	20.1
73	48	19.4	6.6	11.3	7.4	12.8	52.6	35.6	17.0
74	49	18.6	6.5	10.8	7.1	12.1	51.3	34.9	16.4
75	50	17.1	6.3	10.0	6.8	10.8	50.8	33.8	17.1
76	51	16.3	6.3	9.3	6.4	10.0	52.7	33.1	19.6
77	52	15.5	6.1	8.9	6.1	9.4	51.5	32.6	18.9
78	53	14.9	6.1	8.4	5.6	8.8	48.7	31.1	17.6
79	54	14.2	6.0	7.9	5.2	8.3	47.7	29.6	18.1
1980	55	13.6	6.2	7.5	4.9	7.3	46.8	28.8	18.0
81	56	13.0	6.1	7.1	4.7	6.9	49.2	28.8	20.5
82	57	12.8	6.0	6.6	4.2	6.8	49.0	27.7	21.3
83	58	12.7	6.2	6.2	3.9	6.5	45.5	25.4	20.1
84	59	12.5	6.2	6.0	3.7	6.3	46.3	24.3	22.0
85	60	11.9	6.3	5.5	3.4	5.6	46.0	22.1	23.9
86	61	11.4	6.2	5.2	3.1	5.2	45.3	21.4	23.9
87	62	11.1	6.2	5.0	2.9	4.9	45.3	21.2	24.0
88	63	10.8	6.5	4.8	2.7	4.3	43.4	19.5	23.9
89	平成元年	10.2	6.4	4.6	2.6	3.7	42.4	18.9	23.5
1990	2	10.0	6.7	4.6	2.6	3.3	42.3	18.3	23.9
91	3	9.9	6.7	4.4	2.4	3.2	39.7	17.5	22.1
92	4	9.8	6.9	4.5	2.4	2.9	38.9	17.2	21.6
93	5	9.6	7.1	4.3	2.3	2.5	36.6	16.4	20.2
94	6	10.0	7.1	4.2	2.3	2.9	33.5	15.4	18.1
95	7	9.6	7.4	4.3	2.2	2.1	32.1	14.9	17.2
96	8	9.7	7.2	3.8	2.0	2.5	31.7	14.7	17.0
97	9	9.5	7.3	3.7	1.9	2.2	32.1	14.2	17.9
98	10	9.6	7.5	3.6	2.0	2.1	31.4	13.6	17.8
99	11	9.4	7.8	3.4	1.8	1.6	31.6	13.7	17.9
2000	12	9.5	7.7	3.2	1.8	1.8	31.2	13.2	18.1
01	13	9.3	7.7	3.1	1.6	1.6	31.0	13.0	18.0
02	14	9.2	7.8	3.0	1.7	1.4	31.1	12.7	18.3
03	15	8.9	8.0	3.0	1.7	0.9	30.5	12.6	17.8
04	16	8.8	8.2	2.8	1.5	0.7	30.0	12.5	17.5
05	17	8.4	8.6	2.8	1.4	△ 0.2	29.1	12.3	16.7
06	18	8.7	8.6	2.6	1.3	0.1	27.5	11.9	15.6
07	19	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5

注：1) 昭和47年以前は沖縄県を含まない。

2) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。なお、*印は概数による率である。

3) 周産期死亡率は周産期死亡数を出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

4) 合計特殊出生率(期間合計特殊出生率)とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

(実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照)

周産期 死亡率 ³⁾ (出生千対)	婚姻率 (人口千対)	離婚率 (人口千対)	合計特殊 出生率 ⁴⁾	年齢調整死亡率 ⁵⁾ (人口千対)		(参考)		
				男	女	周産期 死亡率 ⁶⁾ (出生千対)	年次 ¹⁾	
...	12.0	1.02	4.54	23.6	18.3	...	昭和22年	1947
...	11.9	0.99	4.40	19.3	15.4	...	23	48
...	10.3	1.01	4.32	18.9	15.0	...	24	49
...	8.6	1.01	3.65	18.6	14.6	46.6	25	1950
...	7.9	0.97	3.26	16.9	13.4	46.7	26	51
...	7.9	0.92	2.98	15.7	12.4	45.6	27	52
...	7.8	0.86	2.69	16.4	12.6	46.0	28	53
...	7.9	0.87	2.48	15.2	11.3	45.1	29	54
...	8.0	0.84	2.37	14.8	11.0	43.9	30	55
...	7.9	0.80	2.22	15.6	11.5	45.5	31	56
...	8.5	0.79	2.04	16.3	11.8	45.0	32	57
...	9.0	0.80	2.11	14.4	10.4	43.9	33	58
...	9.1	0.78	2.04	14.4	10.2	43.0	34	59
...	9.3	0.74	2.00	14.8	10.4	41.4	35	1960
...	9.4	0.74	1.96	14.3	10.0	40.9	36	61
...	9.8	0.75	1.98	14.6	10.0	38.7	37	62
...	9.7	0.73	2.00	13.4	9.3	36.2	38	63
...	9.9	0.74	2.05	13.2	9.1	33.1	39	64
...	9.7	0.79	2.14	13.7	9.3	30.1	40	65
...	9.5	0.80	1.58	12.7	8.7	31.3	41	66
...	9.6	0.84	2.23	12.6	8.5	26.3	42	67
...	9.5	0.87	2.13	12.5	8.4	24.5	43	68
...	9.6	0.89	2.13	12.4	8.2	23.0	44	69
...	10.0	0.93	2.13	12.3	8.2	21.7	45	1970
...	10.5	0.99	2.16	11.5	7.6	20.4	46	71
...	10.4	1.02	2.14	11.2	7.4	19.0	47	72
...	9.9	1.04	2.14	11.2	7.4	18.0	48	73
...	9.1	1.04	2.05	10.9	7.2	16.9	49	74
...	8.5	1.07	1.91	10.4	6.9	16.0	50	75
...	7.8	1.11	1.85	10.1	6.6	14.8	51	76
...	7.2	1.14	1.80	9.6	6.2	14.1	52	77
...	6.9	1.15	1.79	9.4	6.0	13.0	53	78
21.6	6.8	1.17	1.77	9.0	5.7	12.5	54	79
20.2	6.7	1.22	1.75	9.2	5.8	11.7	55	1980
19.5	6.6	1.32	1.74	8.9	5.6	10.8	56	81
18.3	6.6	1.39	1.77	8.5	5.2	10.1	57	82
16.9	6.4	1.51	1.80	8.6	5.2	9.3	58	83
16.6	6.2	1.50	1.81	8.3	5.0	8.7	59	84
15.4	6.1	1.39	1.76	8.1	4.8	8.0	60	85
14.6	5.9	1.37	1.72	7.8	4.6	7.3	61	86
13.7	5.7	1.30	1.69	7.6	4.4	6.9	62	87
12.7	5.8	1.26	1.66	7.7	4.5	6.5	63	88
12.1	5.8	1.29	1.57	7.4	4.2	6.0	平成元年	89
11.1	5.9	1.28	1.54	7.5	4.2	5.7	2	1990
8.5	6.0	1.37	1.53	7.4	4.1	5.3	3	91
8.1	6.1	1.45	1.50	7.4	4.0	5.2	4	92
7.7	6.4	1.52	1.46	7.3	4.0	5.0	5	93
7.5	6.3	1.57	1.50	7.1	3.8	5.0	6	94
7.0	6.4	1.60	1.42	7.2	3.8	4.7	7	95
6.7	6.4	1.66	1.43	6.8	3.6	4.4	8	96
6.4	6.2	1.78	1.39	6.7	3.5	4.2	9	97
6.2	6.3	1.94	1.38	6.6	3.4	4.1	10	98
6.0	6.1	2.00	1.34	6.7	3.4	4.0	11	99
5.8	6.4	2.10	1.36	6.3	3.2	3.8	12	2000
5.5	6.4	2.27	1.33	6.2	3.1	3.6	13	01
5.5	6.0	2.30	1.32	6.0	3.0	3.7	14	02
5.3	5.9	2.25	1.29	6.0	3.0	3.6	15	03
5.0	5.7	2.15	1.29	5.9	3.0	3.3	16	04
4.8	5.7	2.08	1.26	5.9	3.0	3.3	17	05
4.7	5.8	2.04	1.32	5.7	2.9	3.1	18	06
4.5	5.7	2.02	1.34	5.6	2.8	3.0	19	07

5) 年齢調整死亡率は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口(昭和60年モデル人口 19ページ参照)にあてはめて算出した指標である。

6) (参考)の周産期死亡率は妊娠満28週以後の死産数に早期新生児死亡数を加えたものを出生数で除したものである。平成7年から、周産期死亡のうち死産については妊娠満28週以後から妊娠満22週以後に変更されたが、継続観察のため本数値を参考として掲載している。

第3表-1 人口動態総覧，都道府県（18大都市再掲）別

都道府県	出生数			死亡数			(再掲)			新生児 死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡数			
							総数	男	女	
全 国	1 089 818	559 847	529 971	1 108 334	592 784	515 550	2 828	1 534	1 294	1 434
北海道	41 550	21 070	20 480	51 456	28 142	23 314	111	66	45	57
青森	10 162	5 165	4 997	14 968	8 107	6 861	26	15	11	17
岩手	10 344	5 406	4 938	14 768	7 845	6 923	23	10	13	12
宮城	19 810	10 278	9 532	20 347	11 026	9 321	48	22	26	29
秋田	7 502	3 866	3 636	13 743	7 278	6 465	14	11	3	8
山形	9 139	4 729	4 410	13 242	6 898	6 344	23	12	11	13
福島	17 101	8 795	8 306	21 339	11 333	10 006	44	27	17	19
茨城	24 829	12 733	12 096	26 244	14 271	11 973	80	39	41	45
栃木	17 233	8 824	8 409	18 184	9 675	8 509	50	24	26	22
群馬	16 817	8 579	8 238	18 498	9 910	8 588	41	22	19	24
埼玉	60 818	31 261	29 557	50 134	27 699	22 435	147	77	70	69
千葉	51 821	26 576	25 245	45 473	25 197	20 276	135	82	53	71
東京都	103 837	53 564	50 273	96 354	52 202	44 152	278	165	113	146
神奈川	79 193	40 747	38 446	61 093	34 136	26 957	226	118	108	111
新潟	18 724	9 680	9 044	25 126	13 325	11 801	43	16	27	20
富山	8 728	4 452	4 276	11 194	5 878	5 316	27	17	10	15
石川	10 294	5 192	5 102	10 717	5 542	5 175	36	20	16	13
福井	7 191	3 705	3 486	7 886	4 040	3 846	22	9	13	8
山梨	6 988	3 610	3 378	8 347	4 404	3 943	13	6	7	5
長野	18 618	9 617	9 001	21 910	11 358	10 552	36	19	17	19
岐阜	17 696	9 077	8 619	18 910	10 045	8 865	43	29	14	25
静岡	33 274	17 036	16 238	32 507	17 399	15 108	81	43	38	48
愛知	70 218	36 180	34 038	53 618	29 305	24 313	192	114	78	100
三重	15 716	8 038	7 678	17 141	8 892	8 249	59	31	28	26
滋賀	13 343	6 855	6 488	10 649	5 625	5 024	48	23	25	28
京都	21 597	11 101	10 496	22 619	11 682	10 937	51	28	23	23
大阪	76 914	39 296	37 618	70 283	38 346	31 937	204	102	102	94
兵庫	48 685	25 183	23 502	47 877	25 476	22 401	105	55	50	54
奈良	11 261	5 717	5 544	11 902	6 234	5 668	23	14	9	11
和歌山	7 689	3 970	3 719	11 256	5 914	5 342	27	13	14	18
鳥取	5 015	2 553	2 462	6 601	3 420	3 181	15	10	5	10
島根	5 914	3 051	2 863	8 660	4 521	4 139	13	8	5	6
岡山	17 099	8 935	8 164	18 325	9 576	8 749	37	23	14	13
広島	25 887	13 263	12 624	26 070	13 623	12 447	48	28	20	18
山口	11 714	5 995	5 719	16 736	8 641	8 095	22	11	11	9
徳島	6 011	3 076	2 935	8 484	4 457	4 027	21	12	9	11
香川	8 701	4 478	4 223	10 428	5 399	5 029	13	9	4	5
愛媛	11 753	6 053	5 700	15 427	8 118	7 309	25	14	11	13
高松	5 717	2 947	2 770	9 071	4 699	4 372	25	14	11	17
福岡	46 393	23 842	22 551	43 919	22 780	21 139	110	51	59	54
佐賀	7 703	3 944	3 759	8 787	4 484	4 303	17	10	7	6
長崎	12 175	6 192	5 983	15 310	7 859	7 451	37	25	12	22
熊本	16 307	8 337	7 970	18 375	9 350	9 025	45	18	27	22
大分	10 162	5 293	4 869	12 188	6 299	5 889	27	10	17	16
宮崎	10 337	5 351	4 986	11 361	5 827	5 534	24	13	11	14
鹿児島	15 090	7 726	7 364	19 493	9 846	9 647	46	20	26	23
沖縄	16 588	8 434	8 154	9 399	5 049	4 350	42	25	17	20
外国 不詳	160 .	75 .	85 .	177 1 738	118 1 534	59 204	2 3	2 2	- 1	2 3
(再掲)										
東京都区部	69 709	36 065	33 644	67 045	36 513	30 532	188	119	69	101
札幌市	14 498	7 345	7 153	14 044	7 695	6 349	34	19	15	17
仙台市	9 450	4 883	4 567	6 685	3 672	3 013	21	8	13	15
さいたま市	10 837	5 609	5 228	7 609	4 202	3 407	22	8	14	14
千葉市	8 094	4 119	3 975	6 183	3 521	2 662	19	15	4	10
横浜市	32 477	16 717	15 760	24 374	13 720	10 654	91	53	38	47
川崎市	14 051	7 264	6 787	8 362	4 834	3 528	47	20	27	23
新潟市	6 634	3 423	3 211	7 096	3 824	3 272	17	7	10	9
静岡市	5 955	2 990	2 965	6 323	3 421	2 902	12	7	5	8
浜松市	7 512	3 874	3 638	6 514	3 380	3 134	15	8	7	11
名古屋市	20 195	10 424	9 771	17 729	9 727	8 002	67	43	24	29
京都市	11 534	5 929	5 605	12 576	6 413	6 163	33	17	16	15
大阪市	22 892	11 836	11 056	24 367	13 491	10 876	51	27	24	28
堺市	7 780	3 971	3 809	6 474	3 476	2 998	18	10	3	8
神戸市	12 496	6 469	6 027	12 651	6 769	5 882	19	9	10	10
広島市	11 520	5 881	5 639	8 423	4 464	3 959	17	8	9	5
北九州市	8 533	4 384	4 149	9 520	4 920	4 600	15	10	5	8
福岡市	13 876	7 108	6 768	9 092	4 716	4 376	35	16	19	14

注：1 都道府県別の表章は、出生は子の住所、死亡は死亡者の住所、死産は母の住所、婚姻は夫の住所、離婚は別居する前の住所による。
2 新潟市及び浜松市は平成19年4月から指定都市となったが、1月からの数値を計上している。

自然増加数	死産数			周産期死亡数			婚姻件数	離婚件数	都道府県
	総数	自然死産	人工死産	総数	妊娠満期 22週以後 の死産	早産 新生児 死亡			
△ 18 516	29 313	13 107	16 206	4 906	3 854	1 052	719 822	254 832	全 国
△ 9 906	1 481	598	883	191	152	39	28 825	12 956	北 海 道
△ 4 806	311	131	180	55	41	14	6 405	3 014	青 森 県
△ 4 424	332	155	177	53	46	7	6 354	2 308	岩 手 県
△ 537	579	251	328	104	78	26	12 824	4 665	宮 城 県
△ 6 241	199	94	105	30	25	5	4 484	1 894	秋 田 県
△ 4 103	294	126	168	44	34	10	5 461	1 988	山 形 県
△ 4 238	490	243	247	78	62	16	10 178	4 159	茨 城 県
△ 1 415	719	333	386	139	97	42	15 582	5 824	茨 城 県
△ 951	462	206	256	68	49	19	11 108	4 041	栃 木 県
△ 1 681	468	228	240	91	70	21	10 370	3 914	群 馬 県
10 684	1 580	762	818	258	214	44	40 304	14 201	埼 玉 県
6 348	1 307	707	600	260	204	56	35 751	12 352	千 葉 県
7 483	2 621	1 201	1 420	455	353	102	89 243	26 627	東 京 都
18 100	1 847	933	914	359	276	83	56 487	18 265	神 奈 川 県
△ 6 402	476	230	246	84	72	12	11 192	3 506	新 潟 県
△ 2 466	233	134	99	42	36	6	5 184	1 674	富 山 県
△ 423	237	131	106	36	25	11	5 990	1 886	石 川 県
△ 695	178	87	91	30	23	7	4 124	1 334	福 井 県
△ 1 359	185	78	107	21	17	4	4 454	1 723	山 梨 県
△ 3 292	400	202	198	74	59	15	11 141	3 938	長 野 県
△ 1 214	430	189	241	86	64	22	10 687	3 560	岐 阜 県
767	750	328	422	148	112	36	21 150	7 208	静 岡 県
16 600	1 571	719	852	312	241	71	46 940	13 772	愛 知 県
△ 1 425	363	172	191	70	54	16	9 919	3 377	三 重 県
2 694	298	163	135	69	53	16	7 888	2 495	滋 賀 県
△ 1 022	521	228	293	86	66	20	13 978	4 962	京 都 府
6 631	2 109	858	1 251	326	263	63	51 994	20 328	阪 神 府
808	1 286	571	715	222	184	38	30 433	10 821	大 阪 府
△ 641	281	128	153	48	40	8	6 906	2 580	和 歌 山 県
△ 3 567	243	91	152	41	25	16	4 961	2 229	和 歌 山 県
△ 1 586	146	60	86	20	14	6	2 879	1 172	鳥 取 県
△ 2 746	155	67	88	31	27	4	3 203	1 119	島 根 県
△ 1 226	434	155	279	56	45	11	10 130	3 657	岡 山 県
△ 183	602	282	320	87	78	9	16 135	5 514	広 島 県
△ 5 022	319	158	161	44	36	8	7 269	2 683	山 口 県
△ 2 473	146	60	86	24	18	6	3 751	1 530	徳 島 県
△ 1 727	212	104	108	37	33	4	5 253	1 987	香 川 県
△ 3 674	384	144	240	62	53	9	7 302	2 898	愛 媛 県
△ 3 354	220	88	132	40	23	17	3 549	1 663	高 知 県
2 474	1 451	534	917	202	157	45	29 486	11 115	福 岡 県
△ 1 084	223	103	120	27	23	4	4 213	1 542	佐 賀 県
△ 3 135	410	169	241	71	55	16	6 972	2 734	長 崎 県
△ 2 068	524	174	350	61	44	17	9 450	3 570	熊 本 県
△ 2 026	257	84	173	33	24	9	6 311	2 412	大 宮 市
△ 1 024	380	131	249	44	36	8	6 250	2 601	大 宮 市
△ 4 403	554	226	328	76	60	16	8 732	3 336	鹿 児 島 県
7 189	630	284	346	106	91	15	8 620	3 698	沖 縄 県
△ 17	10	5	5	2	1	1	.	.	外 国
.	5	2	3	3	1	2	.	.	不 詳
(再掲)									
2 664	1 813	828	985	319	249	70	65 689	18 924	東 京 都 区 部
454	557	199	358	53	40	13	11 357	4 638	札 幌 市
2 765	273	121	152	45	32	13	6 679	2 034	仙 台 市
3 228	232	117	115	47	35	12	7 113	2 222	さい たま 市
1 911	199	115	84	41	31	10	5 466	1 915	千 葉 市
8 103	769	387	382	142	109	33	23 199	7 388	横 浜 市
5 689	270	129	141	54	36	18	11 075	2 880	川 崎 市
△ 462	190	87	103	34	29	5	4 110	1 240	新 潟 市
△ 368	152	64	88	26	20	6	3 892	1 346	静 岡 市
998	160	71	89	36	27	9	4 678	1 450	浜 松 市
2 466	501	236	265	97	76	21	14 970	4 744	名 古 屋 市
△ 1 042	291	105	186	47	34	13	8 341	2 919	都 京 市
△ 1 475	677	254	423	96	79	17	18 145	7 006	大 阪 市
1 306	208	85	123	32	28	4	4 834	1 938	堺 市
△ 155	330	149	181	51	45	6	8 547	3 113	神 戸 市
3 097	277	136	141	39	36	3	7 377	2 457	広 島 市
△ 987	303	107	196	31	24	7	5 524	2 199	北 九 州 市
4 784	390	125	265	56	44	12	9 869	3 218	福 岡 市

第3表-2 人口動態総覧(率), 都道府県(18大都市再掲)別

都道府県	出生率	死亡率	乳児死亡率	新生児死亡率	自然増加率	死産率 ¹⁾	自然死産率	人工死産率
	(人口千対)	(人口千対)	(出生千対)		(人口千対)	(出産千対)		
全国	8.6	8.8	2.6	1.3	△ 0.1	26.2	11.7	14.5
北海道	7.5	9.3	2.7	1.4	△ 1.8	34.4	13.9	20.5
青森	7.2	10.7	2.6	1.7	△ 3.4	29.7	12.5	17.2
岩手	7.6	10.9	2.2	1.2	△ 3.3	31.1	14.5	16.6
宮城	8.5	8.7	2.4	1.5	△ 0.2	28.4	12.3	16.1
秋田	6.7	12.3	1.9	1.1	△ 5.6	25.8	12.2	13.6
山形	7.7	11.1	2.5	1.4	△ 3.4	31.2	13.4	17.8
福島	8.3	10.4	2.6	1.1	△ 2.1	27.9	13.8	14.0
茨城	8.5	9.0	3.2	1.8	△ 0.5	28.1	13.0	15.1
栃木	8.7	9.2	2.9	1.3	△ 0.5	26.1	11.6	14.5
群馬	8.5	9.3	2.4	1.4	△ 0.8	27.1	13.2	13.9
埼玉	8.7	7.2	2.4	1.1	1.5	25.3	12.2	13.1
千代田	8.6	7.6	2.6	1.4	1.1	24.6	13.3	11.3
東京都	8.3	7.7	2.7	1.4	0.6	24.6	11.3	13.3
神奈川県	9.0	7.0	2.9	1.4	2.1	22.8	11.5	11.3
新潟	7.8	10.5	2.3	1.1	△ 2.7	24.8	12.0	12.8
富山	8.0	10.2	3.1	1.7	△ 2.3	26.0	15.0	11.0
石川	8.9	9.2	3.5	1.3	△ 0.4	22.5	12.4	10.1
福井	8.9	9.8	3.1	1.1	△ 0.9	24.2	11.8	12.3
山梨	8.1	9.7	1.9	0.7	△ 1.6	25.8	10.9	14.9
長野	8.7	10.2	1.9	1.0	△ 1.5	21.0	10.6	10.4
岐阜	8.6	9.2	2.4	1.4	△ 0.6	23.7	10.4	13.3
静岡県	9.0	8.7	2.4	1.4	0.2	22.0	9.6	12.4
愛知県	9.8	7.5	2.7	1.4	2.3	21.9	10.0	11.9
三重	8.6	9.4	3.8	1.7	△ 0.8	22.6	10.7	11.9
滋賀	9.7	7.8	3.6	2.1	2.0	21.8	11.9	9.9
京都	8.3	8.7	2.4	1.1	△ 0.4	23.6	10.3	13.2
大阪府	8.9	8.1	2.7	1.2	0.8	26.7	10.9	15.8
兵庫県	8.8	8.7	2.2	1.1	0.1	25.7	11.4	14.3
奈良	8.0	8.5	2.0	1.0	△ 0.5	24.3	11.1	13.3
和歌山	7.6	11.1	3.5	2.3	△ 3.5	30.6	11.5	19.2
鳥取	8.4	11.1	3.0	2.0	△ 2.7	28.3	11.6	16.7
島根	8.1	11.9	2.2	1.0	△ 3.8	25.5	11.0	14.5
岡山	8.8	9.5	2.2	0.8	△ 0.6	24.8	8.8	15.9
広島	9.1	9.2	1.9	0.7	△ 0.1	22.7	10.6	12.1
山口	8.0	11.4	1.9	0.8	△ 3.4	26.5	13.1	13.4
徳島	7.6	10.7	3.5	1.8	△ 3.1	23.7	9.7	14.0
香川県	8.7	10.4	1.5	0.6	△ 1.7	23.8	11.7	12.1
愛媛	8.1	10.7	2.1	1.1	△ 2.5	31.6	11.9	19.8
高知県	7.3	11.6	4.4	3.0	△ 4.3	37.1	14.8	22.2
福岡	9.2	8.8	2.4	1.2	0.5	30.3	11.2	19.2
佐賀	9.0	10.3	2.2	0.8	△ 1.3	28.1	13.0	15.1
長崎	8.4	10.6	3.0	1.8	△ 2.2	32.6	13.4	19.1
熊本	9.0	10.1	2.8	1.3	△ 1.1	31.1	10.3	20.8
大分	8.5	10.2	2.7	1.6	△ 1.7	24.7	8.1	16.6
宮崎	9.1	10.0	2.3	1.4	△ 0.9	35.5	12.2	23.2
鹿児島	8.7	11.3	3.0	1.5	△ 2.6	35.4	14.4	21.0
沖縄	12.1	6.9	2.5	1.2	5.3	36.6	16.5	20.1
(再掲)								
東京都区部	8.1	7.7	2.7	1.4	0.3	25.3	11.6	13.8
札幌市	7.7	7.4	2.3	1.2	0.2	37.0	13.2	23.8
仙台市	9.2	6.5	2.2	1.6	2.7	28.1	12.4	15.6
さいたま市	9.1	6.4	2.0	1.3	2.7	21.0	10.6	10.4
千葉市	8.6	6.6	2.3	1.2	2.0	24.0	13.9	10.1
横浜市	9.0	6.7	2.8	1.4	2.2	23.1	11.6	11.5
川崎市	10.3	6.1	3.3	1.6	4.2	18.9	9.0	9.8
新潟市	8.2	8.7	2.6	1.4	△ 0.6	27.8	12.7	15.1
静岡市	8.4	8.9	2.0	1.3	△ 0.5	24.9	10.5	14.4
浜松市	9.3	8.0	2.0	1.5	1.2	20.9	9.3	11.6
名古屋市	9.0	7.9	3.3	1.4	1.1	24.2	11.4	12.8
京都市	7.9	8.6	2.9	1.3	△ 0.7	24.6	8.9	15.7
大阪市	8.7	9.2	2.2	1.2	△ 0.6	28.7	10.8	17.9
堺市	9.3	7.8	2.3	1.0	1.6	26.0	10.6	15.4
神戸市	8.1	8.2	1.5	0.8	△ 0.1	25.7	11.6	14.1
広島市	9.9	7.2	1.5	0.4	2.7	23.5	11.5	12.0
北九州市	8.6	9.6	1.8	0.9	△ 1.0	34.3	12.1	22.2
福岡市	9.7	6.4	2.5	1.0	3.4	27.3	8.8	18.6

注: 1 全国には住所が外国・不詳を含む。
 2 人口千対の率算出に用いた人口は付表「諸率の算出に用いた人口」19ページ参照。
 3 合計特殊出生率の算出には、全国値は各歳別の女性の日本人口、都道府県値は5歳階級別の女性の総人口を用いた。
 4 新潟市及び浜松市は平成19年4月から指定都市となったが、1月からの数値を計上している。

周産期 ²⁾ 死亡率 (出産千対)	妊娠満22週 ²⁾ 以後の死産率	早期新生児 死亡率 (出生千対)	婚 姻 率 (人口千対)	離 婚 率 (人口千対)	合計特殊 出生率 ³⁾	都道府県
4.5	3.5	1.0	5.7	2.02	1.34	全 国
4.6	3.6	0.9	5.2	2.33	1.19	北 海 道
5.4	4.0	1.4	4.6	2.15	1.28	青 森
5.1	4.4	0.7	4.7	1.70	1.39	岩 手
5.2	3.9	1.3	5.5	2.00	1.27	宮 城
4.0	3.3	0.7	4.0	1.70	1.31	秋 田
4.8	3.7	1.1	4.6	1.67	1.42	山 形
4.5	3.6	0.9	4.9	2.02	1.49	福 島
5.6	3.9	1.7	5.3	1.99	1.35	茨 城
3.9	2.8	1.1	5.6	2.04	1.39	栃 木
5.4	4.1	1.2	5.2	1.98	1.36	群 馬
4.2	3.5	0.7	5.8	2.03	1.26	埼 千
5.0	3.9	1.1	5.9	2.05	1.25	東 京
4.4	3.4	1.0	7.1	2.13	1.05	神 奈 川
4.5	3.5	1.0	6.5	2.09	1.25	新 潟
4.5	3.8	0.6	4.7	1.46	1.37	富 石
4.8	4.1	0.7	4.7	1.53	1.34	山 川
3.5	2.4	1.1	5.2	1.62	1.40	福 井
4.2	3.2	1.0	5.1	1.66	1.52	石 川
3.0	2.4	0.6	5.2	2.00	1.35	福 山
4.0	3.2	0.8	5.2	1.84	1.47	山 梨
4.8	3.6	1.2	5.2	1.73	1.34	岐 阜
4.4	3.4	1.1	5.7	1.94	1.44	静 岡
4.4	3.4	1.0	6.5	1.92	1.38	愛 知
4.4	3.4	1.0	5.4	1.84	1.37	三 重
5.2	4.0	1.2	5.8	1.82	1.42	滋 賀
4.0	3.0	0.9	5.4	1.92	1.18	京 都
4.2	3.4	0.8	6.0	2.35	1.24	大 阪
4.5	3.8	0.8	5.5	1.97	1.30	兵 庫
4.2	3.5	0.7	4.9	1.84	1.22	和 歌 山
5.3	3.2	2.1	4.9	2.20	1.34	鳥 取
4.0	2.8	1.2	4.8	1.97	1.47	島 根
5.2	4.5	0.7	4.4	1.54	1.53	岡 山
3.3	2.6	0.6	5.2	1.89	1.41	廣 島
3.4	3.0	0.3	5.7	1.94	1.43	岐 阜
3.7	3.1	0.7	5.0	1.84	1.42	山 口
4.0	3.0	1.0	4.7	1.92	1.30	徳 島
4.2	3.8	0.5	5.3	1.99	1.48	香 川
5.3	4.5	0.8	5.1	2.01	1.40	愛 媛
7.0	4.0	3.0	4.6	2.13	1.31	高 知
4.3	3.4	1.0	5.9	2.22	1.34	福 岡
3.5	3.0	0.5	4.9	1.80	1.51	佐 賀
5.8	4.5	1.3	4.8	1.89	1.48	長 崎
3.7	2.7	1.0	5.2	1.96	1.54	熊 本
3.2	2.4	0.9	5.3	2.02	1.47	大 分
4.2	3.5	0.8	5.5	2.28	1.59	宮 崎
5.0	4.0	1.1	5.1	1.93	1.54	鹿 児 島
6.4	5.5	0.9	6.3	2.71	1.75	沖 縄
						(再掲)
4.6	3.6	1.0	7.6	2.19	…	東 京 都 区 部
3.6	2.8	0.9	6.0	2.45	…	札 幌 市
4.7	3.4	1.4	6.5	1.98	…	仙 台 市
4.3	3.2	1.1	6.0	1.87	…	さい たま 市
5.0	3.8	1.2	5.8	2.04	…	千 葉 市
4.4	3.3	1.0	6.4	2.04	…	横 浜 市
3.8	2.6	1.3	8.1	2.10	…	川 崎 市
5.1	4.4	0.8	5.1	1.53	…	新 潟 市
4.4	3.3	1.0	5.5	1.89	…	静 岡 市
4.8	3.6	1.2	5.8	1.79	…	浜 松 市
4.8	3.7	1.0	6.7	2.12	…	名 古 屋 市
4.1	2.9	1.1	5.7	1.99	…	京 都 市
4.2	3.4	0.7	6.9	2.65	…	大 阪 市
4.1	3.6	0.5	5.8	2.32	…	堺 市
4.1	3.6	0.5	5.5	2.01	…	神 戸 市
3.4	3.1	0.3	6.3	2.11	…	広 島 市
3.6	2.8	0.8	5.6	2.23	…	北 九 州 市
4.0	3.2	0.9	6.9	2.26	…	福 岡 市

注：1) 死産率は死産数を出産数(死産数に出生数を加えたもの)で除している。

2) 周産期死亡率、妊娠満22週以後の死産率は、それぞれ周産期死亡数、妊娠満22週以後の死産数を出産数(妊娠満22週以後の死産数に出生数を加えたもの)で除している。

3) 合計特殊出生率(期間合計特殊出生率)とは、その年次の15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で一生涯の間に生むとしたときの子ども数に相当する。(実際に1人の女性が一生の間に生む子ども数はコーホート合計特殊出生率である。20ページ参照)

第4表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた出生数

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	16年	17年	18年	19年
総数	1 934 239	1 576 889	1 221 585	1 187 064	1 190 547	1 110 721	1 062 530	1 092 674	1 089 818
14歳以下	12	14	18	37	43	45	42	41	39
15～19	20 165	14 576	17 478	16 075	19 729	18 546	16 531	15 933	15 211
20～24	513 172	296 854	191 859	193 514	161 361	136 486	128 135	130 230	126 180
25～29	951 246	810 204	550 994	492 714	470 833	370 220	339 328	335 771	324 041
30～34	358 375	388 935	356 026	371 773	396 901	415 903	404 700	417 776	412 611
35～39	80 581	59 127	92 377	100 053	126 409	150 222	153 440	170 775	186 568
40～44	9 860	6 911	12 587	12 472	14 848	18 790	19 750	21 608	24 553
45～49	523	257	224	414	396	483	564	522	590
50歳以上	25	1	-	-	6	16	34	9	19

注：総数には母の年齢不詳を含む。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	16年	17年	18年	19年
総数	1 934 239	1 576 889	1 221 585	1 187 064	1 190 547	1 110 721	1 062 530	1 092 674	1 089 818
第1子	878 979	667 683	531 648	567 530	583 220	537 913	512 412	524 581	519 767
第2子	753 834	642 573	459 569	428 394	434 964	417 647	399 307	408 531	403 656
第3子以上	301 426	266 633	230 368	191 140	172 363	155 161	150 811	159 562	166 395

注：出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の総数について教えた順序である。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成19年				平成18年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1 089 818	519 767	403 656	166 395	1 092 674	524 581	408 531	159 562
14歳以下	39	39	-	-	41	41	-	-
15～19	15 211	13 621	1 503	87	15 933	14 241	1 598	94
20～24	126 180	86 291	34 089	5 800	130 230	89 323	35 240	5 667
25～29	324 041	184 129	108 278	31 634	335 771	190 805	114 478	30 488
30～34	412 611	167 702	173 992	70 917	417 776	168 560	179 125	70 091
35～39	186 568	59 665	77 056	49 847	170 775	54 368	70 568	45 839
40～44	24 553	8 101	8 599	7 853	21 608	7 071	7 400	7 137
45～49	590	199	135	256	522	159	118	245
50歳以上	19	14	4	1	9	5	3	1

注：総数には母の年齢不詳を含む。

第5表 母の年齢（5歳階級）・出生順位別にみた合計特殊出生率

(1) 母の年齢（5歳階級）別

母の年齢	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	16年	17年	18年	19年
総数	2.13	1.75	1.54	1.42	1.36	1.29	1.26	1.32	1.34
15～19歳	0.0209	0.0189	0.0180	0.0185	0.0269	0.0275	0.0253	0.0250	0.0246
20～24	0.5184	0.3855	0.2357	0.2022	0.1965	0.1859	0.1823	0.1871	0.1831
25～29	1.0515	0.9140	0.7031	0.5880	0.4967	0.4388	0.4228	0.4353	0.4341
30～34	0.4314	0.3529	0.4663	0.4677	0.4620	0.4364	0.4285	0.4516	0.4614
35～39	0.0984	0.0666	0.1079	0.1311	0.1572	0.1755	0.1761	0.1886	0.2025
40～44	0.0133	0.0083	0.0113	0.0148	0.0194	0.0239	0.0242	0.0286	0.0305
45～49	0.0008	0.0003	0.0003	0.0004	0.0005	0.0006	0.0008	0.0007	0.0008

注：母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

(2) 出生順位別

出生順位	昭和45年	55年	平成2年	7年	12年	16年	17年	18年	19年
総数	2.13	1.75	1.54	1.42	1.36	1.29	1.26	1.32	1.34
第1子	0.9426	0.7853	0.6631	0.6607	0.6617	0.6371	0.6240	0.6518	0.6590
第2子	0.8436	0.6918	0.5871	0.5209	0.4949	0.4762	0.4643	0.4820	0.4847
第3子以上	0.3484	0.2694	0.2923	0.2410	0.2026	0.1753	0.1717	0.1831	0.1933

注：出生順位別の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。なお、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

(3) 母の年齢（5歳階級）・出生順位別

母の年齢	平成19年				平成18年			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1.34	0.6590	0.4847	0.1933	1.32	0.6518	0.4820	0.1831
15～19歳	0.0246	0.0220	0.0024	0.0001	0.0250	0.0224	0.0025	0.0001
20～24	0.1831	0.1256	0.0492	0.0083	0.1871	0.1285	0.0505	0.0081
25～29	0.4341	0.2473	0.1447	0.0422	0.4353	0.2481	0.1479	0.0393
30～34	0.4614	0.1890	0.1940	0.0783	0.4516	0.1832	0.1932	0.0751
35～39	0.2025	0.0647	0.0836	0.0542	0.1886	0.0600	0.0779	0.0507
40～44	0.0305	0.0101	0.0106	0.0098	0.0286	0.0094	0.0098	0.0094
45～49	0.0008	0.0003	0.0002	0.0003	0.0007	0.0002	0.0002	0.0003

注：1 母の年齢階級別の数値は各歳別出生率を合計したものであり、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含んでいる。

2 出生順位別の総数の数値は出生順位ごとに15歳から49歳の母の各歳別出生率を合計したものであり、これを第1子から第3子以上まで合計したものが、合計特殊出生率である。

第6表 性別にみた死因順位（第10位まで）別 死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合

死 因	平成 19 年			平成 18 年			対前年増減	
	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率	死亡総数に占める割合 (%)	死亡数	死亡率
総 数								
全 死 因	1 108 334	879.0	100.0	1 084 450	859.6	100.0	23 884	19.4
悪 性 新 生 物 (1)	336 468	266.9	30.4	(1) 329 314	261.0	30.4	7 154	5.9
心 疾 患 (2)	175 539	139.2	15.8	(2) 173 024	137.2	16.0	2 515	2.0
脳 血 管 疾 患 (3)	127 041	100.8	11.5	(3) 128 268	101.7	11.8	△ 1 227	△ 0.9
肺 炎 (4)	110 159	87.4	9.9	(4) 107 242	85.0	9.9	2 917	2.4
不 慮 の 事 故 (5)	37 966	30.1	3.4	(5) 38 270	30.3	3.5	△ 304	△ 0.2
自 殺 (6)	30 827	24.4	2.8	(6) 29 921	23.7	2.8	906	0.7
老 衰 (7)	30 734	24.4	2.8	(7) 27 764	22.0	2.6	2 970	2.4
腎 不 全 (8)	21 632	17.2	2.0	(8) 21 158	16.8	2.0	474	0.4
肝 疾 患 (9)	16 195	12.8	1.5	(9) 16 267	12.9	1.5	△ 72	△ 0.1
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患 (10)	14 907	11.8	1.3	(10) 14 357	11.4	1.3	550	0.4
男								
全 死 因	592 784	963.7	100.0	581 370	944.3	100.0	11 414	19.4
悪 性 新 生 物 (1)	202 743	329.6	34.2	(1) 198 052	321.7	34.1	4 691	7.9
心 疾 患 (2)	83 090	135.1	14.0	(2) 82 811	134.5	14.2	279	0.6
脳 血 管 疾 患 (3)	60 992	99.2	10.3	(3) 61 348	99.6	10.6	△ 356	△ 0.4
肺 炎 (4)	58 575	95.2	9.9	(4) 56 572	91.9	9.7	2 003	3.3
不 慮 の 事 故 (5)	22 666	36.8	3.8	(5) 23 329	37.9	4.0	△ 663	△ 1.1
自 殺 (6)	22 007	35.8	3.7	(6) 21 419	34.8	3.7	588	1.0
慢 性 閉 塞 性 肺 疾 患 (7)	11 445	18.6	1.9	(7) 10 904	17.7	1.9	541	0.9
肝 疾 患 (8)	10 708	17.4	1.8	(8) 10 909	17.7	1.9	△ 201	△ 0.3
腎 不 全 (9)	9 928	16.1	1.7	(9) 9 714	15.8	1.7	214	0.3
老 衰 (10)	7 493	12.2	1.3	(11) 6 872	11.2	1.2	621	1.0
女								
全 死 因	515 550	798.4	100.0	503 080	778.9	100.0	12 470	19.5
悪 性 新 生 物 (1)	133 725	207.1	25.9	(1) 131 262	203.2	26.1	2 463	3.9
心 疾 患 (2)	92 449	143.2	17.9	(2) 90 213	139.7	17.9	2 236	3.5
脳 血 管 疾 患 (3)	66 049	102.3	12.8	(3) 66 920	103.6	13.3	△ 871	△ 1.3
肺 炎 (4)	51 584	79.9	10.0	(4) 50 670	78.5	10.1	914	1.4
老 衰 (5)	23 241	36.0	4.5	(5) 20 892	32.3	4.2	2 349	3.7
不 慮 の 事 故 (6)	15 300	23.7	3.0	(6) 14 941	23.1	3.0	359	0.6
腎 不 全 (7)	11 704	18.1	2.3	(7) 11 444	17.7	2.3	260	0.4
自 殺 (8)	8 820	13.7	1.7	(8) 8 502	13.2	1.7	318	0.5
糖 尿 病 (9)	6 604	10.2	1.3	(9) 6 382	9.9	1.3	222	0.3
大 動 脈 瘤 及 び 解 離 (10)	5 534	8.6	1.1	(11) 5 089	7.9	1.0	445	0.7

注：1 ()内の数字は、死因順位を示す。

2 「心疾患」は、「心疾患（高血圧性を除く）」である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-1)

死 因 簡単分類 コード	死 因	平 成 19 年						平 成 18 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
	総 数	1 108 334	592 784	515 550	879.0	963.7	798.4	1 084 450	859.6
01000	感染症及び寄生虫症	24 408	12 356	12 052	19.4	20.1	18.7	24 011	19.0
01100	腸管感染症	2 228	942	1 286	1.8	1.5	2.0	2 190	1.7
01200	結核	2 194	1 458	736	1.7	2.4	1.1	2 269	1.8
01201	呼吸器結核	1 994	1 364	630	1.6	2.2	1.0	1 997	1.6
01202	その他の結核	200	94	106	0.2	0.2	0.2	272	0.2
01300	敗血症	9 265	4 314	4 951	7.3	7.0	7.7	8 862	7.0
01400	ウイルス肝炎	5 659	2 880	2 779	4.5	4.7	4.3	5 815	4.6
01401	B型ウイルス肝炎	686	446	240	0.5	0.7	0.4	689	0.5
01402	C型ウイルス肝炎	4 622	2 257	2 365	3.7	3.7	3.7	4 786	3.8
01403	その他のウイルス肝炎	351	177	174	0.3	0.3	0.3	340	0.3
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病	65	58	7	0.1	0.1	0.0	60	0.0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	4 997	2 704	2 293	4.0	4.4	3.6	4 815	3.8
02000	新生物	346 523	207 947	138 576	274.8	338.1	214.6	339 424	269.1
02100	悪性新生物	336 468	202 743	133 725	266.9	329.6	207.1	329 314	261.0
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	6 399	4 601	1 798	5.1	7.5	2.8	6 018	4.8
02102	食道の悪性新生物	11 669	9 900	1 769	9.3	16.1	2.7	11 345	9.0
02103	胃の悪性新生物	50 597	33 143	17 454	40.1	53.9	27.0	50 415	40.0
02104	結腸の悪性新生物	27 933	14 061	13 872	22.2	22.9	21.5	27 317	21.7
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	13 926	8 785	5 141	11.0	14.3	8.0	13 739	10.9
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	33 599	22 300	11 299	26.6	36.3	17.5	33 662	26.7
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	16 841	7 919	8 922	13.4	12.9	13.8	16 855	13.4
02108	膵の悪性新生物	24 634	13 029	11 605	19.5	21.2	18.0	23 366	18.5
02109	喉頭の悪性新生物	1 029	949	80	0.8	1.5	0.1	1 003	0.8
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	65 608	47 685	17 923	52.0	77.5	27.8	63 255	50.1
02111	皮膚の悪性新生物	1 241	609	632	1.0	1.0	1.0	1 261	1.0
02112	乳房の悪性新生物	11 414	91	11 323	9.1	0.1	17.5	11 274	8.9
02113	子宮の悪性新生物	5 622	・	5 622	¹⁾ 8.7	・	8.7	5 513	¹⁾ 8.5
02114	卵巣の悪性新生物	4 467	・	4 467	¹⁾ 6.9	・	6.9	4 435	¹⁾ 6.9
02115	前立腺の悪性新生物	9 786	9 786	・	²⁾ 15.9	15.9	・	9 527	²⁾ 15.5
02116	膀胱の悪性新生物	6 174	4 271	1 903	4.9	6.9	2.9	6 126	4.9
02117	中枢神経系の悪性新生物	1 610	909	701	1.3	1.5	1.1	1 708	1.4
02118	悪性リンパ腫	9 159	5 235	3 924	7.3	8.5	6.1	8 639	6.8
02119	白血病	7 607	4 556	3 051	6.0	7.4	4.7	7 429	5.9
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	4 068	2 032	2 036	3.2	3.3	3.2	3 910	3.1
02121	その他の悪性新生物	23 085	12 882	10 203	18.3	20.9	15.8	22 517	17.8
02200	その他の新生物	10 055	5 204	4 851	8.0	8.5	7.5	10 110	8.0
02201	中枢神経系のその他の新生物	2 736	1 319	1 417	2.2	2.1	2.2	2 990	2.4
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	7 319	3 885	3 434	5.8	6.3	5.3	7 120	5.6
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	4 131	1 821	2 310	3.3	3.0	3.6	4 180	3.3
03100	貧血	1 625	611	1 014	1.3	1.0	1.6	1 589	1.3
03200	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2 506	1 210	1 296	2.0	2.0	2.0	2 591	2.1

注： 死因分類については、WHOの最新の勧告を国内に適用するため「統計調査に用いる産業分類並びに疾病、傷害及び死因分類を定める政令第三条の規定に基づく疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表（平成6年総務庁告示第75号）」が改正（平成17年10月7日）され、平成18年1月1日から「ICD-10（2003年版）準拠」が適用された。

- 1) 女性人口10万対である。
- 2) 男性人口10万対である。

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-2)

死因 簡単分類 コード	死 因	平成 19 年						平成 18 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	20 321	10 211	10 110	16.1	16.6	15.7	19 605	15.5
04100	糖尿病	13 999	7 395	6 604	11.1	12.0	10.2	13 650	10.8
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	6 322	2 816	3 506	5.0	4.6	5.4	5 955	4.7
05000	精神及び行動の障害	5 781	1 946	3 835	4.6	3.2	5.9	5 168	4.1
05100	血管性及び詳細不明の認知症	4 500	1 274	3 226	3.6	2.1	5.0	3 920	3.1
05200	その他の精神及び行動の障害	1 281	672	609	1.0	1.1	0.9	1 248	1.0
06000	神経系の疾患	15 303	7 777	7 526	12.1	12.6	11.7	14 251	11.3
06100	髄膜炎	381	214	167	0.3	0.3	0.3	342	0.3
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	1 848	1 027	821	1.5	1.7	1.3	1 759	1.4
06300	パーキンソン病	4 084	1 917	2 167	3.2	3.1	3.4	3 856	3.1
06400	アルツハイマー病	2 592	960	1 632	2.1	1.6	2.5	2 286	1.8
06500	その他の神経系の疾患	6 398	3 659	2 739	5.1	5.9	4.2	6 008	4.8
07000	眼及び付属器の疾患	5	1	4	0.0	0.0	0.0	9	0.0
08000	耳及び乳様突起の疾患	30	16	14	0.0	0.0	0.0	15	0.0
09000	循環器系の疾患	327 486	156 268	171 218	259.7	254.0	265.2	324 786	257.5
09100	高血圧性疾患	6 144	2 323	3 821	4.9	3.8	5.9	5 810	4.6
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	3 608	1 356	2 252	2.9	2.2	3.5	3 348	2.7
09102	その他の高血圧性疾患	2 536	967	1 569	2.0	1.6	2.4	2 462	2.0
09200	心疾患（高血圧性を除く）	175 539	83 090	92 449	139.2	135.1	143.2	173 024	137.2
09201	慢性リウマチ性心疾患	2 431	735	1 696	1.9	1.2	2.6	2 445	1.9
09202	急性心筋梗塞	43 780	23 927	19 853	34.7	38.9	30.7	45 067	35.7
09203	その他の虚血性心疾患	31 360	17 096	14 264	24.9	27.8	22.1	30 362	24.1
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	8 074	2 635	5 439	6.4	4.3	8.4	7 481	5.9
09205	心筋症	3 547	2 082	1 465	2.8	3.4	2.3	3 655	2.9
09206	不整脈及び伝導障害	21 721	10 728	10 993	17.2	17.4	17.0	21 290	16.9
09207	心不全	60 273	23 558	36 715	47.8	38.3	56.9	58 418	46.3
09208	その他の心疾患	4 353	2 329	2 024	3.5	3.8	3.1	4 306	3.4
09300	脳血管疾患	127 041	60 992	66 049	100.8	99.2	102.3	128 268	101.7
09301	くも膜下出血	14 243	5 349	8 894	11.3	8.7	13.8	14 466	11.5
09302	脳内出血	33 135	18 403	14 732	26.3	29.9	22.8	33 290	26.4
09303	脳梗塞	76 247	35 660	40 587	60.5	58.0	62.9	77 008	61.0
09304	その他の脳血管疾患	3 416	1 580	1 836	2.7	2.6	2.8	3 504	2.8
09400	大動脈瘤及び解離	12 396	6 862	5 534	9.8	11.2	8.6	11 665	9.2
09500	その他の循環器系の疾患	6 366	3 001	3 365	5.0	4.9	5.2	6 019	4.8
10000	呼吸器系の疾患	168 078	93 582	74 496	133.3	152.1	115.4	162 907	129.1
10100	インフルエンザ	696	340	356	0.6	0.6	0.6	865	0.7
10200	肺炎	110 159	58 575	51 584	87.4	95.2	79.9	107 242	85.0
10300	急性気管支炎	772	289	483	0.6	0.5	0.7	853	0.7
10400	慢性閉塞性肺疾患	14 907	11 445	3 462	11.8	18.6	5.4	14 357	11.4
10500	喘息	2 540	1 135	1 405	2.0	1.8	2.2	2 778	2.2
10600	その他の呼吸器系の疾患	39 004	21 798	17 206	30.9	35.4	26.6	36 812	29.2
11000	消化器系の疾患	43 066	23 301	19 765	34.2	37.9	30.6	42 429	33.6
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	3 274	1 849	1 425	2.6	3.0	2.2	3 403	2.7
11200	ヘルニア及び腸閉塞	5 717	2 575	3 142	4.5	4.2	4.9	5 585	4.4

第7表 死因簡単分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）

(3-3)

死 因 簡単分類 コード	死 因	平成 19 年						平成 18 年	
		死 亡 数			死 亡 率			死亡数	死亡率
		総 数	男	女	総 数	男	女	総 数	総 数
11300	肝疾患	16 195	10 708	5 487	12.8	17.4	8.5	16 267	12.9
11301	肝硬変（アルコール性を除く）	8 954	5 241	3 713	7.1	8.5	5.7	9 064	7.2
11302	その他の肝疾患	7 241	5 467	1 774	5.7	8.9	2.7	7 203	5.7
11400	その他の消化器系の疾患	17 880	8 169	9 711	14.2	13.3	15.0	17 174	13.6
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	978	374	604	0.8	0.6	0.9	990	0.8
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	5 013	1 831	3 182	4.0	3.0	4.9	4 848	3.8
14000	腎尿路生殖器系の疾患	28 975	12 598	16 377	23.0	20.5	25.4	27 859	22.1
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	3 370	1 257	2 113	2.7	2.0	3.3	3 164	2.5
14200	腎不全	21 632	9 928	11 704	17.2	16.1	18.1	21 158	16.8
14201	急性腎不全	3 922	1 723	2 199	3.1	2.8	3.4	3 962	3.1
14202	慢性腎不全	12 625	5 998	6 627	10.0	9.8	10.3	12 084	9.6
14203	詳細不明の腎不全	5 085	2 207	2 878	4.0	3.6	4.5	5 112	4.1
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	3 973	1 413	2 560	3.2	2.3	4.0	3 537	2.8
15000	妊娠、分娩及び産じょく	39	・	39	¹⁾ 0.1	・	0.1	63	¹⁾ 0.1
16000	周産期に発生した病態	804	439	365	0.6	0.7	0.6	828	0.7
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	82	43	39	0.1	0.1	0.1	86	0.1
16200	出産外傷	10	7	3	0.0	0.0	0.0	9	0.0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	387	195	192	0.3	0.3	0.3	403	0.3
16400	周産期に特異的な感染症	85	57	28	0.1	0.1	0.0	69	0.1
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	123	69	54	0.1	0.1	0.1	151	0.1
16600	その他の周産期に発生した病態	117	68	49	0.1	0.1	0.1	110	0.1
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	2 322	1 125	1 197	1.8	1.8	1.9	2 306	1.8
17100	神経系の先天奇形	107	46	61	0.1	0.1	0.1	95	0.1
17200	循環器系の先天奇形	1 205	570	635	1.0	0.9	1.0	1 178	0.9
17201	心臓の先天奇形	898	446	452	0.7	0.7	0.7	887	0.7
17202	その他の循環器系の先天奇形	307	124	183	0.2	0.2	0.3	291	0.2
17300	消化器系の先天奇形	118	60	58	0.1	0.1	0.1	106	0.1
17400	その他の先天奇形及び変形	566	308	258	0.4	0.5	0.4	632	0.5
17500	染色体異常、他に分類されないもの	326	141	185	0.3	0.2	0.3	295	0.2
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	41 245	13 591	27 654	32.7	22.1	42.8	37 659	29.9
18100	老衰	30 734	7 493	23 241	24.4	12.2	36.0	27 764	22.0
18200	乳幼児突然死症候群	158	106	52	0.1	0.2	0.1	194	0.2
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	10 353	5 992	4 361	8.2	9.7	6.8	9 701	7.7
20000	傷病及び死亡の外因	73 826	47 600	26 226	58.6	77.4	40.6	73 112	58.0
20100	不慮の事故	37 966	22 666	15 300	30.1	36.8	23.7	38 270	30.3
20101	交通事故	8 268	5 559	2 709	6.6	9.0	4.2	9 048	7.2
20102	転倒・転落	6 951	4 041	2 910	5.5	6.6	4.5	6 601	5.2
20103	不慮の溺死及び溺水	5 966	3 251	2 715	4.7	5.3	4.2	6 038	4.8
20104	不慮の窒息	9 142	4 762	4 380	7.3	7.7	6.8	9 187	7.3
20105	煙、火及び火炎への曝露	1 455	922	533	1.2	1.5	0.8	1 509	1.2
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	855	584	271	0.7	0.9	0.4	873	0.7
20107	その他の不慮の事故	5 329	3 547	1 782	4.2	5.8	2.8	5 014	4.0
20200	自殺	30 827	22 007	8 820	24.4	35.8	13.7	29 921	23.7
20300	他殺	516	271	245	0.4	0.4	0.4	580	0.5
20400	その他の外因	4 517	2 656	1 861	3.6	4.3	2.9	4 341	3.4
22000	特殊目的用コード	-	-	-	-	-	-	-	-
22100	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	-	-	-	-	-	-	-	-

(別表)

日本における外国人の人口動態

平成19年

国籍	出生数(母の国籍別)			死亡数			乳児死亡数
	総数	男	女	総数	男	女	
総数	13 429	6 934	6 495	6 138	3 612	2 526	41
韓国・朝鮮	1 749	911	838	4 674	2 748	1 926	5
中国	3 403	1 746	1 657	506	287	219	8
フィリピン	1 417	760	657	108	34	74	3
タイ	146	78	68	43	15	28	-
米国	271	125	146	141	96	45	4
英国	51	23	28	12	8	4	-
ブラジル	3 281	1 733	1 548	172	109	63	11
ペルー	785	389	396	47	31	16	2
その他の国	2 326	1 169	1 157	435	284	151	8

国籍	死産数 (母の国籍別)	婚姻件数		離婚件数	
		夫	妻	夫	妻
総数	638	4 347		1 476	
韓国・朝鮮	142	969	952	442	409
中国	88	384	492	602	629
フィリピン	171	42	333	6	52
タイ	15	105	142	14	21
米国	16	527	324	12	7
英国	3	39	30	5	1
ブラジル	84	1 292	1 190	74	63
ペルー	39	284	254	68	54
その他の国	80	705	630	253	240

注：本表における外国人とは、次のものをいう。

- 出生・死産は両親とも外国籍のもの、または嫡出でない子のうち母の国籍が外国のもの
- 死亡・乳児死亡は死亡した者が外国籍のもの
- 婚姻・離婚は夫妻とも外国籍のもの

外国における日本人の人口動態

平成19年

出生数			死亡数			婚姻件数	離婚件数
総数	男	女	総数	男	女		
14 936	7 688	7 248	1 568	970	598	12 850	1 783

注：本表における日本人とは、次のものをいう。

- 出生は両親または両親の一方が日本国籍のもの
- 死亡は死亡した者が日本国籍のもの
- 婚姻・離婚は夫妻または夫妻の一方が日本国籍のもの

諸率の算出に用いた人口

都道府県・男女別人口（日本人人口）

都 道 府 県	総 数	男	女
全 国	126 085 000	61 511 000	64 574 000
北海道	5 553 000	2 630 000	2 923 000
青森	1 403 000	661 000	742 000
岩手	1 359 000	650 000	709 000
宮城	2 336 000	1 135 000	1 201 000
秋田	1 117 000	527 000	591 000
山形	1 192 000	574 000	618 000
福島	2 057 000	1 001 000	1 056 000
茨城	2 929 000	1 458 000	1 471 000
栃木	1 985 000	988 000	998 000
群馬	1 980 000	974 000	1 006 000
埼玉県	7 003 000	3 530 000	3 473 000
千葉県	6 019 000	3 012 000	3 007 000
東京都	12 488 000	6 222 000	6 266 000
神奈川県	8 754 000	4 423 000	4 331 000
新潟	2 394 000	1 159 000	1 235 000
富山	1 093 000	527 000	566 000
石川	1 161 000	560 000	601 000
福井	804 000	390 000	415 000
山梨	863 000	423 000	440 000
長野	2 145 000	1 045 000	1 100 000
岐阜	2 059 000	998 000	1 061 000
静岡県	3 717 000	1 831 000	1 886 000
愛知県	7 173 000	3 604 000	3 569 000
三重	1 831 000	891 000	940 000
滋賀	1 369 000	677 000	693 000
京都府	2 591 000	1 245 000	1 347 000
大阪府	8 641 000	4 187 000	4 454 000
兵庫県	5 505 000	2 636 000	2 869 000
奈良	1 401 000	665 000	736 000
和歌山	1 015 000	477 000	537 000
鳥取	596 000	285 000	311 000
島根	726 000	346 000	380 000
岡山	1 935 000	929 000	1 006 000
広島	2 842 000	1 374 000	1 468 000
山口	1 462 000	689 000	773 000
徳島	796 000	379 000	418 000
香川	999 000	480 000	520 000
愛媛	1 445 000	680 000	765 000
高知	779 000	365 000	414 000
福岡	5 016 000	2 374 000	2 642 000
佐賀	856 000	403 000	453 000
長崎	1 447 000	676 000	772 000
熊本	1 820 000	857 000	964 000
大宮	1 196 000	564 000	632 000
宮崎	1 139 000	535 000	604 000
鹿児島	1 726 000	806 000	920 000
沖縄	1 366 000	669 000	697 000

資料：「平成19年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

5歳階級・男女別人口（日本人人口）

年 齢 階 級	総 数	男	女
総 数	126 085 000	61 511 000	64 574 000
0 ～ 4 歳	5 379 000	2 755 000	2 624 000
5 ～ 9	5 823 000	2 986 000	2 837 000
10 ～ 14	5 936 000	3 041 000	2 895 000
15 ～ 19	6 202 000	3 182 000	3 019 000
20 ～ 24	7 024 000	3 613 000	3 411 000
25 ～ 29	7 555 000	3 850 000	3 705 000
30 ～ 34	9 157 000	4 651 000	4 507 000
35 ～ 39	9 236 000	4 680 000	4 556 000
40 ～ 44	8 066 000	4 074 000	3 992 000
45 ～ 49	7 619 000	3 827 000	3 791 000
50 ～ 54	7 962 000	3 976 000	3 986 000
55 ～ 59	10 359 000	5 124 000	5 235 000
60 ～ 64	8 419 000	4 102 000	4 317 000
65 ～ 69	7 797 000	3 727 000	4 070 000
70 ～ 74	6 893 000	3 177 000	3 716 000
75 ～ 79	5 545 000	2 398 000	3 147 000
80 ～ 84	3 851 000	1 457 000	2 394 000
85 ～ 89	2 043 000	605 000	1 438 000
90 ～ 94	924 000	229 000	694 000
95 ～ 99	260 000	50 000	210 000
100歳以上	35 000	5 000	30 000

資料：「平成19年10月1日現在推計人口」（総務省統計局）

18大都市・男女別人口（総人口）

18大都市 (再掲)	総 数	男	女
東京都	8 653 000	4 291 000	4 361 000
札幌市	1 894 000	891 000	1 003 000
仙台市	1 029 000	501 000	528 000
さいたま市	1 190 000	597 000	593 000
千葉市	937 000	468 000	469 000
横浜市	3 627 000	1 824 000	1 803 000
川崎市	1 369 000	708 000	662 000
新潟市	813 000	392 000	421 000
静岡市	711 000	346 000	365 000
浜松市	811 000	404 000	407 000
名古屋市	2 237 000	1 111 000	1 125 000
京都市	1 469 000	699 000	770 000
大阪市	2 644 000	1 288 000	1 356 000
堺市	835 000	402 000	433 000
神戸市	1 548 000	740 000	809 000
広島市	1 162 000	563 000	599 000
北九州市	987 000	464 000	524 000
福岡市	1 427 000	684 000	743 000

資料：各指定都市及び東京都が推計した平成19年10月1日現在の総人口である。

基準人口（昭和60年モデル人口）

年 齢 階 級	基 準 人 口	年 齢 階 級	基 準 人 口
0 ～ 4 歳	8 180 000	50 ～ 54歳	7 616 000
5 ～ 9	8 338 000	55 ～ 59	6 581 000
10 ～ 14	8 497 000	60 ～ 64	5 546 000
15 ～ 19	8 655 000	65 ～ 69	4 511 000
20 ～ 24	8 814 000	70 ～ 74	3 476 000
25 ～ 29	8 972 000	75 ～ 79	2 441 000
30 ～ 34	9 130 000	80 ～ 84	1 406 000
35 ～ 39	9 289 000	85歳以上	784 000
40 ～ 44	9 400 000	総 数	120 287 000
45 ～ 49	8 651 000		

合計特殊出生率について

1. 期間合計特殊出生率とコーホート合計特殊出生率

- 合計特殊出生率は「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」であり、次の2つの種類がある。
 - A 「期間」合計特殊出生率
ある期間（1年間）の出生状況に着目したもので、その年における各年齢（15～49歳）の女性の出生率を合計したもの。
どの年齢の女性の人数も同じとして算定される出生率なので、女性人口の年齢構成の違いを除いた「その年の出生率」であり、年次比較、国際比較、地域比較に用いられている。
 - B 「コーホート」合計特殊出生率
ある世代の出生状況に着目したもので、同一年生まれ（コーホート）の女性の各年齢（15～49歳）の出生率を過去から積み上げたもの。
「その世代の出生率」である。
- 実際に「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」はBのコーホート合計特殊出生率であるが、この値はその世代が50歳に到達するまで得られないため、それに相当するものとしてAの期間合計特殊出生率が一般に用いられている。
なお、各年齢別の出生率が世代（コーホート）によらず同じであれば、この二つの「合計特殊出生率」は同じ値になる。
- 晩婚化・晩産化が進行している状況では、各世代の結婚や出産の行動に違いがあり、各年齢の出生率が世代により異なるため、別々の世代の年齢別出生率の合計であるAの期間合計特殊出生率は、同一世代のBのコーホート合計特殊出生率の値と異なる。

2. コーホート合計特殊出生率（ごく粗い計算）

コーホート合計特殊出生率は同一世代の女性の出生率を過去から積み上げるため、その世代が50歳になるまで得られないが、現段階で得られる到達年齢までのコーホート合計特殊出生率を、5歳階級ごとに1つの世代とみてごく粗く計算した。

例えば1968～1972年生まれ（平成19年における35～39歳の世代）についての39歳までのコーホート合計特殊出生率は約1.43であるが、40歳以降も出産するので、実際にこの世代の「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」は、少なくともこの水準を上回ると見込まれる。

現在、晩産化の進行中であることから、平成19年の期間合計特殊出生率は、出産を終えた世代の高年齢時における低い出生率と、晩婚化・晩産化により出産を先送りしている世代の若年齢時の低い出生率の合計となっており「実際に一人の女性が一生の間に生む子どもの数」より低く現れている。

① 期間合計特殊出生率の年次推移(年齢階級別内訳)

母の年齢	昭和52年	57年	62年	平成4年	9年	14年	平成19年
	(1977)	(1982)	(1987)	(1992)	(1997)	(2002)	(2007)
	1.80	1.77	1.69	1.50	1.39	1.32	1.34
15～19歳	0.0169	0.0207	0.0194	0.0187	0.0206	0.0298	0.0246
20～24	0.4477	0.3580	0.2798	0.2240	0.1933	0.1979	0.1831
25～29	0.9255	0.9230	0.8289	0.6585	0.5448	0.4648	0.4341
30～34	0.3336	0.3886	0.4597	0.4704	0.4700	0.4410	0.4614
35～39	0.0674	0.0709	0.0933	0.1174	0.1424	0.1633	0.2025
40～44	0.0093	0.0085	0.0093	0.0125	0.0165	0.0213	0.0305
45～49	0.0004	0.0003	0.0002	0.0003	0.0004	0.0005	0.0008

② 各世代別(コホート)にみた母の年齢階級別出生率(ごく粗い計算)

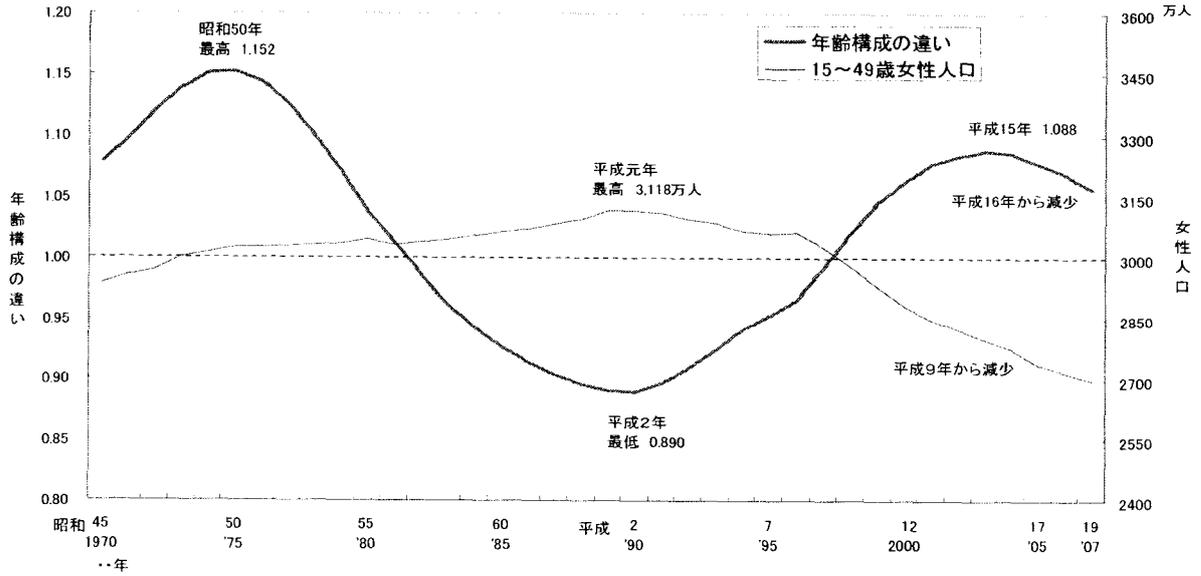
母の年齢	1958-1962	1963-1967	1968-1972	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992
	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.0169	0.0207	0.0194	0.0187	0.0206	0.0298	0.0246
20～24	0.3580	0.2798	0.2240	0.1933	0.1979	0.1831	
25～29	0.8289	0.6585	0.5448	0.4648	0.4341		
30～34	0.4704	0.4700	0.4410	0.4614			
35～39	0.1424	0.1633	0.2025				
40～44	0.0213	0.0305					
45～49	0.0008						
コホート合計特殊出生率	1.84	1.62	1.43	1.14	0.65	0.21	0.02

③ コホート合計特殊出生率(母の到達年齢別)(ごく粗い計算)

母の年齢	1958-1962	1963-1967	1968-1972	1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992
	45～49歳の世代	40～44歳の世代	35～39歳の世代	30～34歳の世代	25～29歳の世代	20～24歳の世代	15～19歳の世代
15～19歳	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.02
15～24	0.37	0.30	0.24	0.21	0.22	0.21	
15～29	1.20	0.96	0.79	0.68	0.65		
15～34	1.67	1.43	1.23	1.14			
15～39	1.82	1.59	1.43				
15～44	1.84	1.62					
15～49	1.84						

*「15～19歳の世代」は、昭和63～平成4年生まれ、「20～24歳の世代」は、昭和58～62年生まれ、「25～29歳の世代」は、昭和53～57年生まれ、「30～34歳の世代」は、昭和48～52年生まれ、「35～39歳の世代」は、昭和43～47年生まれ、「40～44歳の世代」は、昭和38～42年生まれ、「45～49歳の世代」は、昭和33～37年生まれ。

「女性人口(15～49歳)」と「年齢構成の違い」の動向



年次	実 数				対前年増減率 (%)				
	出生数 ①× $\frac{②}{35}$ ×③	15～49歳 女性人口 (千人) ①	合計特殊 出生率 ②	年齢構成 の違い ③	出生数	15～49歳 女性人口	合計特殊 出生率	年齢構成 の違い	
1970	昭和 45年	1 934 239	29 400	2.13	1.079
71	46	2 000 973	29 589	2.16	1.097	3.5	0.6	1.1	1.7
72	47	2 038 682	29 700	2.14	1.122	1.9	0.4	△ 0.7	2.2
73	48	2 091 983	30 035	2.14	1.139	2.6	1.1	△ 0.1	1.6
74	49	2 029 989	30 128	2.05	1.151	△ 3.0	0.3	△ 4.3	1.1
75	50	1 901 440	30 251	1.91	1.152	△ 6.3	0.4	△ 6.8	0.1
76	51	1 832 617	30 271	1.85	1.144	△ 3.6	0.1	△ 3.0	△ 0.7
77	52	1 755 100	30 289	1.80	1.126	△ 4.2	0.1	△ 2.8	△ 1.6
78	53	1 708 643	30 319	1.79	1.101	△ 2.6	0.1	△ 0.5	△ 2.2
79	54	1 642 580	30 351	1.77	1.071	△ 3.9	0.1	△ 1.2	△ 2.8
1980	55	1 576 889	30 438	1.75	1.038	△ 4.0	0.3	△ 1.3	△ 3.0
81	56	1 529 455	30 333	1.74	1.013	△ 3.0	△ 0.3	△ 0.3	△ 2.4
82	57	1 515 392	30 404	1.77	0.986	△ 0.9	0.2	1.6	△ 2.7
83	58	1 508 687	30 463	1.80	0.963	△ 0.4	0.2	1.7	△ 2.3
84	59	1 489 780	30 549	1.81	0.942	△ 1.3	0.3	0.6	△ 2.1
85	60	1 431 577	30 644	1.76	0.927	△ 3.9	0.3	△ 2.6	△ 1.6
86	61	1 382 946	30 726	1.72	0.914	△ 3.4	0.3	△ 2.3	△ 1.4
87	62	1 346 658	30 834	1.69	0.904	△ 2.6	0.4	△ 1.9	△ 1.1
88	63	1 314 006	30 983	1.66	0.896	△ 2.4	0.5	△ 2.0	△ 0.9
89	平成 元年	1 246 802	31 177	1.57	0.890	△ 5.1	0.6	△ 5.1	△ 0.6
1990	2	1 221 585	31 154	1.54	0.890	△ 2.0	△ 0.1	△ 1.9	△ 0.1
91	3	1 223 245	31 094	1.53	0.897	0.1	△ 0.2	△ 0.5	0.9
92	4	1 208 989	30 974	1.50	0.910	△ 1.2	△ 0.4	△ 2.1	1.4
93	5	1 188 282	30 865	1.46	0.924	△ 1.7	△ 0.4	△ 2.9	1.6
94	6	1 238 328	30 681	1.50	0.942	4.2	△ 0.6	2.9	1.9
95	7	1 187 064	30 614	1.42	0.954	△ 4.1	△ 0.2	△ 5.2	1.3
96	8	1 206 555	30 651	1.43	0.967	1.6	0.1	0.2	1.3
97	9	1 191 665	30 249	1.39	0.993	△ 1.2	△ 1.3	△ 2.6	2.8
98	10	1 203 147	29 809	1.38	1.021	1.0	△ 1.5	△ 0.3	2.8
99	11	1 177 669	29 330	1.34	1.047	△ 2.1	△ 1.6	△ 3.0	2.6
2000	12	1 190 547	28 821	1.36	1.064	1.1	△ 1.7	1.3	1.6
01	13	1 170 662	28 513	1.33	1.077	△ 1.7	△ 1.1	△ 1.9	1.3
02	14	1 153 855	28 240	1.32	1.085	△ 1.4	△ 1.0	△ 1.1	0.7
03	15	1 123 610	27 998	1.29	1.088	△ 2.6	△ 0.9	△ 2.1	0.4
04	16	1 110 721	27 773	1.29	1.086	△ 1.1	△ 0.8	△ 0.1	△ 0.2
05	17	1 062 530	27 385	1.26	1.078	△ 4.3	△ 1.4	△ 2.2	△ 0.8
06	18	1 092 674	27 165	1.32	1.069	2.8	△ 0.8	4.5	△ 0.8
07	19	1 089 818	26 982	1.34	1.057	△ 0.3	△ 0.7	1.5	△ 1.1

注：1) 「合計特殊出生率」の転換年は昭和49年
 2) 「年齢構成の違い」の転換年は昭和51年、平成3年、16年
 3) 「15～49歳女性人口」の転換年は平成9年

厚生労働省ホームページ掲載表一覧

掲載場所：「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成19年人口動態統計（確定数）の概況」
 →「人口動態統計年報 主要統計表（最新データ、年次推移）」
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/suii07/index.html>

人口動態統計年報 主要統計表（最新データ、年次推移）

総 覧		
第1表	表	人口動態総覧
第2表	表-1	人口動態総覧の年次推移
第3表	表-2	人口動態総覧（率）の年次推移
第3表	表-1	人口動態総覧，都道府県（18大都市再掲）別
第3表	表-2	人口動態総覧（率），都道府県（18大都市再掲）別
出 生		
第1表	表-1	母の年齢（5歳階級）別にみた出生数の年次推移
第1表	表-2	母の年齢（5歳階級）別にみた合計特殊出生率の年次推移
第2表	表-1	出生順位別にみた出生数の年次推移
第2表	表-2	出生順位別にみた合計特殊出生率の年次推移
第3表	表-1	出生順位別にみた出生数の年次比較（年齢階級別内訳）
第3表	表-2	出生順位別にみた合計特殊出生率の年次比較（年齢階級別内訳）
第4表	表	都道府県別にみた合計特殊出生率の年次推移
第5表	表	出生順位別にみた母の平均年齢の年次推移
第6表	表	性別にみた出生時の身長別出生数・構成割合
第7表	表	性別にみた出生時の体重別出生数・構成割合
第8表	表	父母の国籍別にみた出生数の年次推移
第9表	表	単産-複産（複産の種類・出生-死産の組み合わせ）別分娩件数
第10表	表	都道府県別にみた単産-複産（複産の種類）別分娩件数
死 亡		
第1表	表	性別にみた死因順位（第10位まで）別死亡数・死亡率（人口10万対）・構成割合
第2表	表	死因順位（第10位まで）別にみた年齢階級別死亡数・死亡率（人口10万対）
第3表	表	死因簡分類別にみた性別死亡数・死亡率（人口10万対）
第4表	表	性・年齢階級別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移
第5表	表	死亡の場所別にみた死亡数・構成割合の年次推移
第6表	表	死亡の場所別にみた都道府県（18大都市再掲）別死亡数・構成割合
第7表	表	死因順位（第5位まで）別にみた死亡数・死亡率（人口10万対）の年次推移
第8表	表	死因順位（第5位まで）別にみた年齢階級・性別死亡数・死亡率（人口10万対） ・構成割合
第9表	表	年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡数
第10表	表	年齢階級別にみた選択死因分類・性別死亡率（人口10万対）
第11表	表	死因年次推移分類別にみた性別死亡数の年次推移
第12表	表	死因年次推移分類別にみた性別死亡率（人口10万対）の年次推移
第13表	表	死因年次推移分類別にみた性別年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移
第14表	表	主な死因別にみた都道府県（18大都市再掲）別死亡数・死亡率（人口10万対）
第15表	表	悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡数の年次推移
第16表	表	悪性新生物の主な部位別にみた性別死亡率（人口10万対）の年次推移
第17表	表	悪性新生物の主な部位別にみた性別年齢調整死亡率（人口10万対）の年次推移
第18表	表	家庭内における主な不慮の事故の種類別にみた年齢別死亡数・構成割合
死 産		
第1表	表	妊娠期間別にみた自然-人工別死産数・構成割合
婚 姻		
第1表	表	初婚-再婚別・夫妻の組み合わせ別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移
第2表	表	夫妻の国籍別にみた婚姻件数の年次推移
第3表	表	夫・妻の年齢階級別にみた初婚件数・初婚率（人口千対）の年次推移
第4表	表	夫・妻の平均婚姻年齢の年次推移
第5表	表	都道府県別にみた夫・妻の平均初婚年齢の年次推移
第6表	表	初婚夫妻の年齢差別にみた婚姻件数・構成割合の年次推移
離 婚		
第1表	表	同居期間別にみた離婚件数・平均同居期間の年次推移
第2表	表	夫妻の国籍別にみた離婚件数の年次推移
第3表	表	別居したときの夫妻の年齢階級別にみた離婚件数・構成割合
第4表	表	同居期間別にみた別居したときの夫・妻の年齢階級別離婚件数・構成割合
第5表	表	親権を行わなければならない子の有無別離婚件数・構成割合及び親が離婚した未成年の子の数の年次推移
別 表		
別 表	表	日本における外国人の人口動態・外国における日本人の人口動態
付 表		
付 表	表	諸率の算出に用いた人口